





# 6 MW300gをセットアップする(続き)

## ③ 本装置の初期導入設定ManagementConsoleに接続する

クライアントPCのInternet Explorerから以下のURLを指定して、本装置のManagement Consoleに接続してください。

http://192.168.250.250:50453/

正常に接続されると「Management Console」のログイン画面が表示されます。



ユーザ名、パスワード入力画面が表示されます。

”ユーザ名(U)”、”パスワード(P)”に以下を入力して、[OK]をクリックしてください。

ユーザ名(U) : root  
パスワード(P) : システム管理者パスワード(\*)

システム管理者のパスワードは、『管理者用パスワード』に記載されている「出荷時の管理者用パスワード」を入力してください。

## ④ 初期導入設定を実行する

### ① 初期導入を開始する

ログインが成功すると以下の画面が表示されます。[開始]を押下し、初期導入を実施します。作業を中断したい場合は、[中止]を押下してください。



### ② システム管理者を設定する

ここでは、システム管理者に関する設定を行います。システム管理者のアカウントは“admin”（固定）です。システム管理者用のパスワードを「パスワード」/「パスワード再入力」に入力して[次へ]をクリックしてください。システム管理者名のパスワードの指定は必須です。

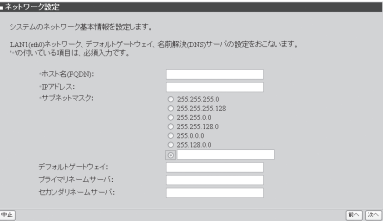


メモ： システム管理者のアカウントは、セットアップ完了後システム管理者ManagementConsole画面で変更できます。

### ③ ネットワーク情報を設定する

お客様の運用ネットワークに合わせたネットワーク情報の設定を行います。

「ホスト名(FQDN)」、「IPアドレス」、「サブネットマスク」、「デフォルトゲートウェイ」、「プライマリネームサーバ」、「セカンダリネームサーバ」に設定内容を入力し、[次へ(N)]をクリックしてください。



| 項目名         | 設定内容              |
|-------------|-------------------|
| *ホスト名       | 本装置のFQDNを設定します    |
| * IPアドレス    | 本装置のIPアドレスを設定します  |
| *サブネットマスク   | ネットワークマスクを設定します   |
| デフォルトゲートウェイ | デフォルトゲートウェイを設定します |
| プライマリネームサーバ | プライマリネームサーバを設定します |
| セカンダリネームサーバ | セカンダリネームサーバを設定します |

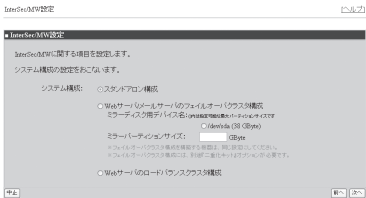
※項目名の先頭に「\*」があるものは必須入力です

## ④ InterSec/MWのシステム構成を設定する

本装置のシステム構成に関する設定を行います。InterSec/MWは、以下の構成を選択できます。

- スタンドアロン構成
- Webサーバ／メールサーバのフェイルオーバクラスタ構成
- Webサーバのロードバランスクラスタ構成

「Webサーバ／メールサーバのフェイルオーバクラスタ構成」を選択した場合は、「ミラーディスク用デバイス名」を指定し「ミラーサイズ」をGB単位で入力します。設定を終了後、[次へ]をクリックしてください。



メモ：各システム構成の詳細な説明は以下のとおりです。

- スタンドアロン構成  
本装置台で運用します。LANインタフェースの冗長化ができます。
- Webサーバ／メールサーバのフェイルオーバクラスタ構成  
2台のInterSec/MWでの冗長化システムにより運用を行います。この構成を選択した場合は、「ミラーディスク用デバイス名」と「ミラーサイズ」(ミラー対象のパーティションサイズ)の指定が必要です。

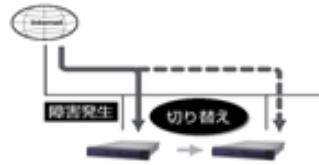
「ミラーディスク用デバイス名」

2台のマシンそれぞれに対しミラーディスク用に同じサイズのバック／論理ドライブを別途作成しておく必要があります。作成したデバイス名(/deb/sdaもしくは/deb/sdb)が表示されますので指定するパーティションを選択します。

「ミラーサイズ」

最大で指定できるサイズを表示されます。必要な「ミラーディスク用デバイス」のサイズをGB単位で指定します。

フェイルオーバクラスタ構成



- Webサーバのロードバランスクラスタ構成

2台以上のInterSec/MWでのWebサーバロードバランスを構築します。この構成は、Webサーバのみ利用することができます。

ロードバランスクラスタ構成



**重要** フェイルオーバクラスタ構成、ロードバランスクラスタ構成を構築する場合は、初期導入完了後システム管理者ManagementConsole画面からの設定が必要です。『ユーザーズガイド』のソフトウェア編を参照してください。また、フェイルオーバクラスタ構成を構築する場合は、別売りの「Express5800/MW300g、MW500g- 二重化構成構築キット」が必要です。

## ⑤ 初期導入設定内容を確認する

前項までの初期設定内容を表示します。設定内容に間違いがないか確認してください。表示した設定内容でよければ[次へ]をクリックしてください。設定内容を変更する場合は[前へ]をクリックしてください。



## ⑥ システムを再起動する

初期導入設定が完了すると、システムの再起動画面を表示します。続けてシステムの運用設定を行う場合は[システムを再起動する]をクリックしてください。システムを停止する場合は[システムを停止する]をクリックしてください。



# 7 システムにログインし、各種設定を実行する

初期セットアップ完了後は必ずManagement Consoleに接続してシステムの初期化完了を確認してください。完了後、本装置の詳細な設定や管理は、管理コンソール「ManagementConsole」画面で行います。

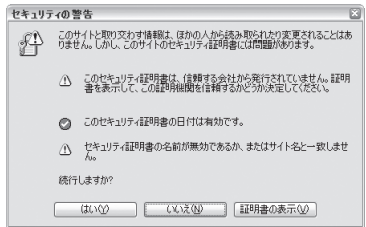
## ① 管理クライアントのWebブラウザから以下のURLに接続します

クライアントPC上でWebブラウザ(Webブラウザは、Microsoft Internet Explorer 6.0 SP2以上)を起動します。Webブラウザの設定では、プロキシを経由しないで接続してください。

https://本装置に割り当てたFQDN: 50453/  
または  
https://本装置に割り当てたIPアドレス: 50453/

## ② 管理コンソールにログインする

前述のURLにアクセスすると「セキュリティの警告」画面が表示されますが、問題はありませんので、続行してください。

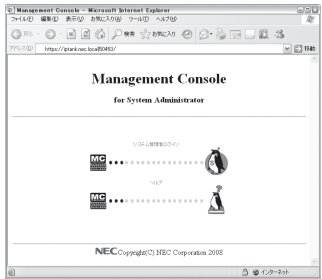


InternetExplorer6の場合



InternetExplorer7の場合

管理コンソールのログイン画面が表示されます。「システム管理者ログイン」をクリックしてください。



# 8 ESMPRO/ServerAgentの設定をする

本体の状態を監視するソフトウェアESMPRO/ServerAgent]がインストール済みです。ファンやマザーボード、ハードディスクドライブ、本体の温度などを監視するこのソフトウェアの設定(しきい値やイベント通知先)を行います。

詳しくは、バックアップDVDに格納されている「ESMPRO/ServerAgentユーザーズガイド」を参照してください。  
<バックアップDVD>:/nec/doc/300/esmpro.sa/esmsa\_users.pdf

接続に使用するクライアントマシンによっては、罫線が文字化けすることがありますが、それぞれの機能は問題なく動作します。

**重要** バックアップDVDをPC等に挿入したまま、再起動するとインストール処理が実行されます。利用後は必ず取り出してください。

# 9 管理コンピュータのセットアップをする

本体をネットワーク上から管理、保守するソフトウェアを管理コンピュータにインストールします。ソフトウェアは、本体に添付の「EXPRESSBUILDER DVD」に含まれています。管理コンピュータのDVDドライブに「EXPRESSBUILDER DVD」をセットすると表示される「オートランで起動するメニュー」からそれぞれインストールすることができます。詳しくはユーザーズガイド(ハードウェア編)の3章を参照してください。

以上で完了です。